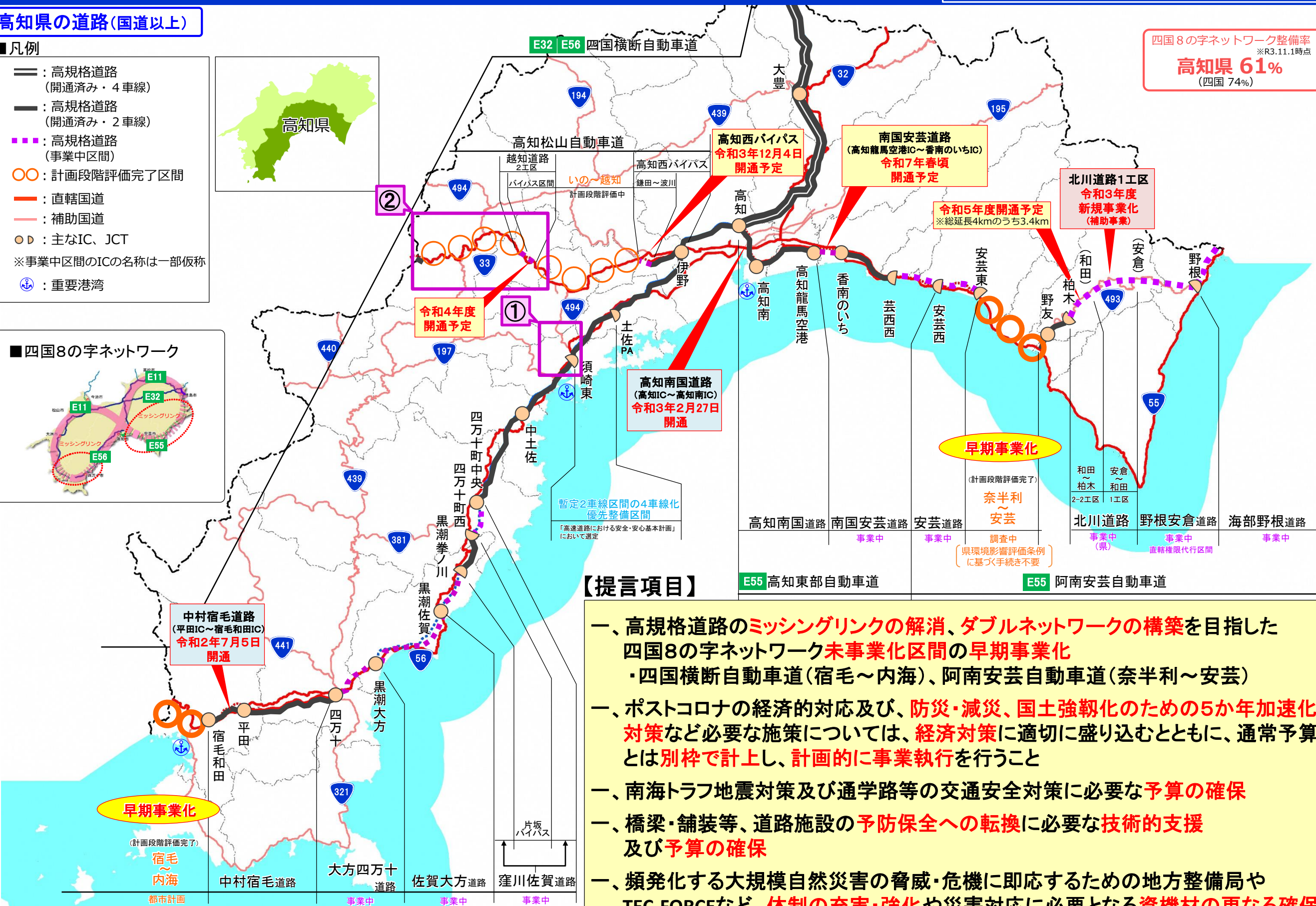
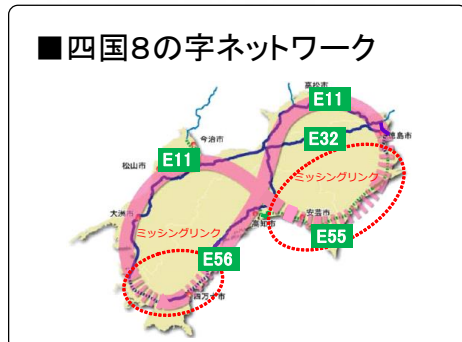


高知県の道路(国道以上)

- 凡例
- == : 高規格道路 (開通済み・4車線)
 - : 高規格道路 (開通済み・2車線)
 - : 高規格道路 (事業中区間)
 - ○ : 計画段階評価完了区間
 - : 直轄国道
 - : 補助国道
 - ● : 主なIC、JCT
 - ※事業中区間のICの名称は一部仮称
 - ⚓ : 重要港湾



四国8の字ネットワーク整備率
※R3.11.1時点
高知県 61%
(四国 74%)



【提言項目】

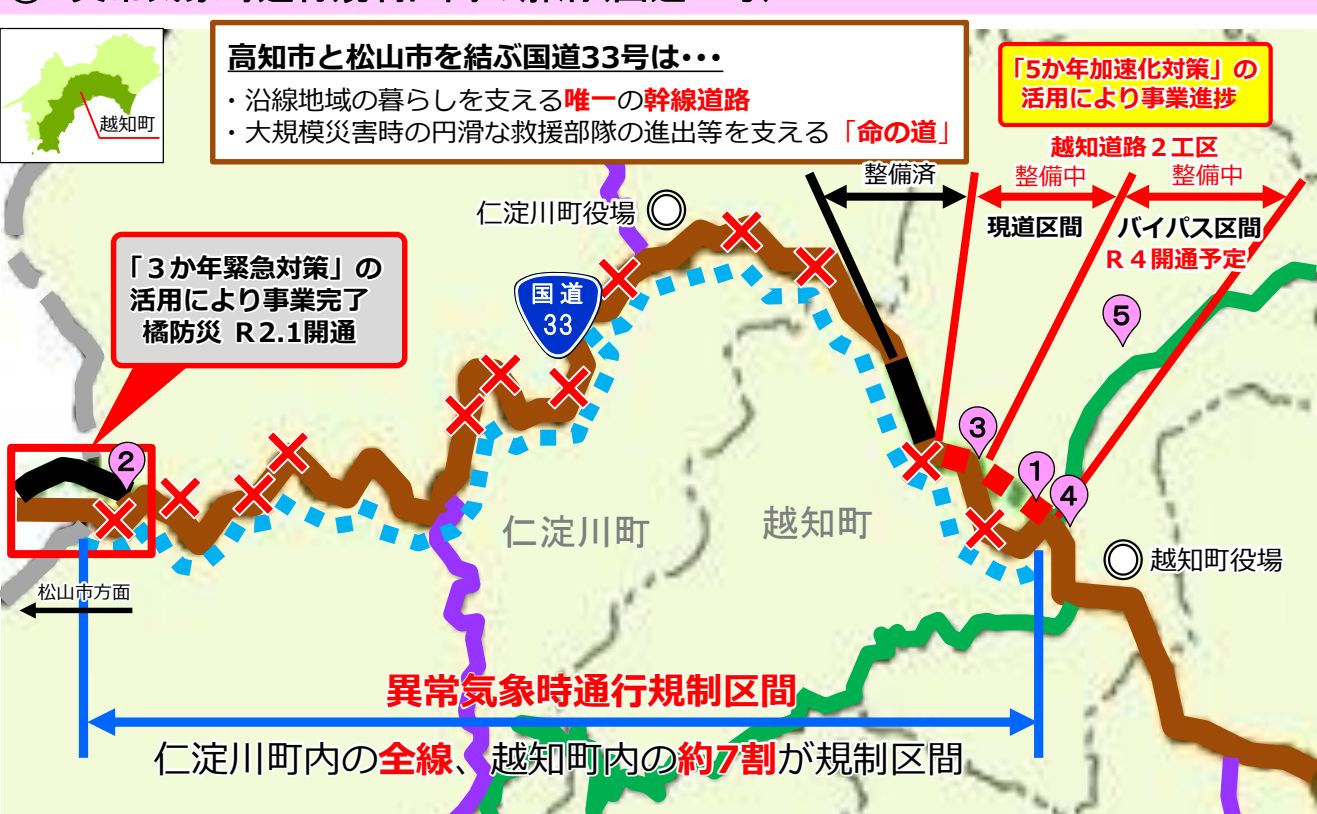
- 一、高規格道路の**ミッシングリンクの解消**、**ダブルネットワークの構築**を目指した**四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化**
・四国横断自動車道(宿毛～内海)、阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)
- 一、ポストコロナの経済的対応及び、**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**など必要な施策については、**経済対策**に適切に盛り込むとともに、通常予算とは**別枠で計上し、計画的に事業執行を行うこと**
- 一、南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な**予算の確保**
- 一、橋梁・舗装等、道路施設の**予防保全への転換**に必要な**技術的支援及び予算の確保**
- 一、頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局やTEC-FORCEなど、**体制の充実・強化**や災害対応に必要な**資機材の更なる確保**

5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保

① 防災上危険箇所の回避(国道494号)



② 異常気象時通行規制区間の解消(国道33号)



直轄国道 主要地方道
直轄国道(整備済) 異常気象時通行規制区間
直轄国道(整備中) 落石・崩壊危険箇所(1~5箇所) ※R2道路防災点検結果に基づく
補助国道(県管理)

※ 国道33号越知町~仁淀川町の災害に対する脆弱区間については、**防災機能向上や幹線道路の機能強化等**に係る調査を進める

当初予算配分におけるメリット

【工事】	初年度				次年度			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
補正予算	公告~入札	準備工	改良工事(その1)		公告~入札	準備工	改良工事(その2)	
当初予算	翌債承認	公告~入札	準備工	改良工事(その1+その2)				早期完成

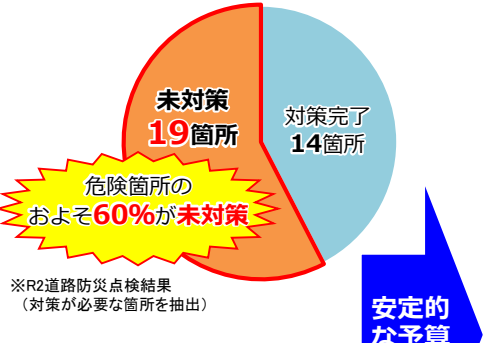
【メリット】

- 発注ロットを小さくせず大ロットでの発注が可能
- 準備工にかかる時間が短縮でき、**早期に効用が現現**
- 経済的な実施が可能** (諸経費の縮減、仮設防護柵リース期間の短縮)

改良工事(その1) 仮設防護柵
改良工事(その2)

【補償】	初年度				次年度			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
ナスの収穫事例	収穫	植付(7~8月)	収穫(9~6月)	ピーク(3~5月)	植付(7~8月)		収穫	
補正予算			移転補償契約(8カ月)※1	収穫断念				※1:移転補償契約期間は代替農地準備期間で設定 資金借入~ハウス設置(6カ月)~土作り(2カ月) 契約期間中は提供用地での園芸が可能
当初予算				移転補償契約(8カ月)※1				ナスを作りながら代替農地の準備が可能 生産者の 事業持続が可能 な補償!!

■落石等の危険箇所における対策実施状況



■異常気象時通行規制状況



危険箇所の解消

- 安全で安心な日々の暮らしの確保
- 地域防災力の向上

2 仁淀川町橋地区 (R2.1)

3 越知町越知地区 (R3.5)

観光振興を下支え

4 スノーピークかわの駅おち

アウトドアで「仁淀ブルー」を満喫!

5 浅尾沈下橋 (越知町)

「竜とそばかすの姫」R3.7.16公開
聖地巡礼に期待! 約1万2千人来訪 (R3.10末)

南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な予算の確保

橋梁等、道路施設の 予防保全への転換に必要な技術的支援・予算の確保

様々な自然災害への備えを高めるための、四国8の字ネットワークの整備

南海トラフ地震

■ 高規格幹線道路等
■ 高規格幹線道路等 (整備中)
■ 直轄国道
■ 補助国道
⇄ 津波浸水想定区間
○ 四国8の字NW
○ ミッシングリンク区間
○ 計画段階評価完了区間

県内全ての市町村で震度6弱以上が発生

沿岸部の幹線道路は津波浸水により一時寸断

国道55号・56号の津波浸水想定区間の割合

浸水区間外	約4割
現道の約6割が津波で浸水	非常に脆弱!

四国8の字ネットワークの整備

ダブルネットワークの構築により災害に強い強靱なネットワークを形成

台風・豪雨による国道の被災状況

- 室戸市佐喜浜 (R1.10) 年平均約11日間も全面通行止め等が発生 ※H28-R2平均11回 (1時間未満の規制は除く)
- 北川村安倉 (H30.7) ※平成30年7月豪雨 3ヶ月以上も全面通行止め 約200m
- 徳島県方面 約90m

津波浸水の影響を受けない高台へ移転

4 宿毛市 (名称: 希望ヶ丘) ※宿毛市庁舎令和4年5月開庁予定

津波及び地震に伴う地盤沈下による長期浸水想定区域

(県) 土木事務所 (市) 保育園 (市) 役場庁舎 (県) 警察署

E56 四国横断自動車道「宿毛～内海」ルート帯 避ルート帯: 高台北側の1km幅

事後対策から予防保全へ転換し、コスト縮減

高知県における橋梁の現状

高知県及び市町村管理橋梁の1巡目点検結果 (H26～H30)

判定区分	橋梁数	割合
判定区分Ⅰ	3,293橋	(26%)
判定区分Ⅱ	7,606橋	(60%)
判定区分Ⅲ	1,623橋	(13%)
判定区分Ⅳ	66橋	(1%)

早期または緊急に対策が必要な橋梁 14% (1689橋)

【判定区分】
 I:健全
 II:構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
 III:構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
 IV:構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

※出典: 高知県道路課

Ⅲ・Ⅳ判定橋梁の対応状況 (R2.9末現在)

	措置着手率	うち完了
県	100%	44%
市町村	41%	15%

市町村橋梁の着手率 約4割

※出典: 令和2年度 第1回高知県道路メンテナンス会議資料 1巡目点検結果に対する割合

通学路等の交通安全対策

高知県における通学路交通安全対策の取り組み

○背景

H24通学路緊急合同点検
平成24年4月23日の京都府亀岡市の事故をはじめ、登下校中の交通事故が相次いで発生したことを受けて、学校関係者、教育委員会、道路管理者及び警察により点検を実施。

R1未就学児緊急安全点検
令和元年5月8日に滋賀県大津市で発生した園児等の事故を受けて、幼稚園、保育園等の対象施設、対象施設を所管する機関、道路管理者及び警察により点検を実施。

R3通学路合同点検
令和3年6月28日の千葉県で発生した交通事故を受けて、国土交通省、文部科学省、警察庁が連携し、通学路における交通安全を一層確保する取り組みとして合同点検を実施。今回の点検で危険と位置づけられた箇所について、今後、対策内容を検討し、早期対策完了を目指し取り組んでいく。

<p>歩道整備</p> <p>歩道がなく危険</p> <p>歩道整備により安全を確保</p>	<p>防護柵</p> <p>交通量の多い交差点</p> <p>防護柵設置で安全を確保</p>	<p>グリーンベルト</p> <p>歩車分離がされておらず危険</p> <p>グリーンベルト設置により車道と分離</p>	<p>横断歩道カラー化</p> <p>直線部でスピードが出やすい</p> <p>横断歩道のカラー化により運転手へ注意喚起</p>
---	---	---	---

市町村における老朽化対策の課題

橋梁保全業務に携わる技術者数 (R3.5現在)

	自治体数	うち技術者不在自治体数
市	11	0
町	17	6
村	6	4
市町村計	34	10

県内34市町村の内 10町村で技術者不在

※出典: 高知県道路課調べ

管理橋梁の割合

県管理	2,582橋 (20%)
市町村管理	10,087橋 (80%)

※出典: 高知県道路課調べ (R2末時点)

橋梁点検調査にかかる費用負担

- 橋梁点検調査 (1回/5年)
- 点検費 約40万円/橋
- 年間点検調査費 約8億円

点検調査費は起債対象外

※点検の結果、翌年までに対策工事を行う必要がある施設以外

技術的支援

- 研修機会の増加など**技術者の育成・確保**のための更なる支援

予算の確保

- 着実な維持管理を行うための**予算の確保**
- 起債充当などの**制度設計**

予算の確保 南海トラフ地震対策の推進と通学路等の安全対策により**安全・安心な道路整備を促進**

技術的支援 予算の確保 橋梁等、道路施設の**予防保全への転換と持続可能な維持管理の実現** P3